

第207回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日時:2007年10月23日(火) 13時~17時35分

会場: **東京理科大学薬学部校舎 薬学部1442教室(14号館) アクセス**  
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]  
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。  
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

**講演主題: HPLCによるキラル分離  
~キラル分離用カラムの正しい使用法と最先端キラル分離法~**

効果的に光学異性体の分離を行うには、分離したい化合物に適したカラムと溶離液を選択することが非常に重要です。そこで本例会ではカラムメーカーにご協力をいただき、各社のキラル分離用カラムの正しい使用法を明確に解説していただきます。また、キラル分離用誘導体化試薬の使用法、超臨界クロマトグラフィー(SFC)によるキラル分離、生体内生理活性物質の最先端分析法についてご講演いただきます。

**講演**

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)

(万有製薬(株))平野 篤

2. アミノ酸光学異性体の高感度二次元HPLC分析法開発と哺乳類体内におけるD-アミノ酸の可能性 (13:05~13:55)

(九州大学大学院 薬学研究院)浜瀬 健司

3. キラル分離用誘導体化試薬について (13:55~14:20)

(東京化成工業(株))井上 剛志

4. SFCによるキラル分離 (14:20~14:45)

(日本カンタム・デザイン(株))堀江 真之介

5. Astec製キラルHPLCカラム、CHIROBIOTIC、CYCLOBONDのHow to Use!! (14:45~15:10)

(シグマ アルドリッチ ジャパン(株))石倉 正之

6. YMCキラルカラム、充填剤の特長とその使用法 (15:10~15:35)

((株)ワイエムシイ)栗山 尚浩

7. (株)資生堂の光学分割カラムの分離特性 (15:50~16:15)

((株)資生堂)神田 武利

8. キラル固定相の選択方法と使用上の留意点 (16:15~16:40)

(住化分析センター(株))西岡 亮太

9. 多糖系キラルHPLCーその進歩と応用 (16:40~17:05)

(ダイセル化学工業(株))柴田 徹

10. 総括 (17:05~17:35)

(東京理科大学薬学部)中村 洋

---

**参加費**(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000円、その他:  
4,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

---

**カタログ展示**

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

---

**懇親会**

講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(薬学部食堂を予定)。会費:1,000円。

---

**申込方法**

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

**申込先**

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572、E-mail:[hm\\_tanaka@jsac.or.jp](mailto:hm_tanaka@jsac.or.jp)]